

Calendar for October (10) with daily events and holidays.

11 NOVEMBER

Calendar for November (11) with daily events and holidays.

12 DECEMBER

Calendar for December (12) with daily events and holidays.

SOJO UNIVERSITY VOL.53 Autumn 2009

UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

巻頭特集

空へ。パイロットや航空整備士をめざして学ぶ工学部・宇宙航空システム工学科「専修課程」実習レポート

かがくで遊ぼう!

崇城大学 ★★ テクノファンタジー 2009 開催 10月18日(日) 10:00~15:00

小学生から中・高校生、一般の方まで誰もが科学で楽しく遊べるイベント



同時開催 入試相談会

お問合せは入試課まで ●Tel) 096-326-6810 ●E-mail) nyushi@ofc.sojo-u.ac.jp

10時から30分おきにJR上熊本駅と崇城大学の間をシャトルバスが運行



崇城大学 SOJO UNIVERSITY

- Faculty list including Engineering, Art, Information, Biological Sciences, and Pharmacy departments.

SOJO 検索 http://www.sojo-u.ac.jp/

〒860-0082 熊本市池田4-22-1 TEL.096-326-3111 (代表) FAX.096-326-3000



A O 試験	後期	実施学部	■工学部 ^{※1} ■情報学部 ■生物生命学部
		エントリー受付期間	11月02日[月]～11月16日[月]
		願書受付期間	11月27日[金]～12月11日[金]
		試験日	12月17日[木]
		合格発表	12月24日[木]

指定校推薦試験	後期/全指定校	実施学部	■工学部 ^{※1} ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月06日[金]
		合格発表	11月14日[土]

推薦試験	普通高専	実施学部	■工学部 ^{※1} ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月06日[金]・11月07日[土] (試験日選択型)
		合格発表	11月14日[土]

一般・専願	一般	実施学部	■工学部 ^{※1} ■情報学部 ■生物生命学部
	専願	実施学部	■芸術学部 ■薬学部
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月06日[金] 薬学部(専願) 11月07日[土] 芸術学部・薬学部(一般)
		合格発表	11月14日[土] ※薬学部は11月17日[火]

自己推薦試験	前期	実施学部	■工学部 ^{※1} ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	11月24日[火]～12月11日[金]
		試験日	12月16日[水]
		合格発表	12月24日[木]

後期	実施学部	■工学部 ^{※1} ■芸術学部 ^{※2} ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	02月08日[月]～02月22日[月]
	試験日	03月02日[火]
	合格発表	03月05日[金]

一般試験	前期	実施学部	■全学部 ^{※1}
		願書受付期間	01月08日[金]～01月25日[月]
		試験日	01月30日[土]・01月31日[日] (試験日選択型)
		合格発表	02月10日[水] ※薬学部は02月12日[金]

後期	実施学部	■全学部 ^{※1}
	願書受付期間	02月15日[月]～03月10日[水]
	試験日	03月14日[日]
	合格発表	03月19日[金]

大学入試センター試験利用試験	前期	実施学部	■全学部 ^{※1}
		願書受付期間	01月08日[金]～02月01日[月]
		試験日	本学独自の試験は課さない
		合格発表	02月10日[水] ※薬学部は02月12日[金]

中期	実施学部	■全学部 ^{※1} (薬学部は中期日程に後期として実施)
	願書受付期間	02月15日[月]～03月11日[木]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	03月19日[金]

後期	実施学部	■全学部 ^{※1} (薬学部は中期日程に後期を実施)
	願書受付期間	03月15日[月]～03月23日[火]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	03月27日[土]

※1 宇宙航空システム工学科は総合課程のみ
 ※2 自己推薦試験の芸術学部は後期のみのみ
 ※3 普通高校推薦・専門高校推薦は特待生選考を兼ねています
 ※4 一般試験前期は特待生選考を兼ねています(芸術学部を除く)

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程>

A O 試験	後期	実施コース	パイロット養成コース
		エントリー受付期間	11月02日[月]～11月16日[月]
		願書受付期間	11月27日[金]～12月11日[金]
		試験日	12月17日[木]
		合格発表	12月24日[木]

推薦試験	一般・専願	実施コース	航空整備士養成コース(専願推薦)、パイロット養成コース(一般推薦)
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月07日[土]
		合格発表	11月14日[土]

一般・専願試験	前期	実施コース	航空整備士養成コース(専願試験)、パイロット養成コース(一般試験)
		願書受付期間	01月08日[金]～01月25日[月]
		試験日	01月30日[土]
		合格発表	02月10日[水]

後期	実施コース	航空整備士養成コース(専願試験)、パイロット養成コース(一般試験)
	願書受付期間	02月15日[月]～03月10日[水]
	試験日	03月14日[日]
	合格発表	03月19日[金]



■表紙アートは、大学院修士課程・美術専攻の二木優子(ふたつきゆうこ)さん(宮城県・宮崎日本大学高校出身)による「白木蓮(はくもくれん)」。

CONTENTS

- 02 SPECIAL ARTICLE
空へ。
パイロットや航空整備士をめざして学ぶ
工学部・宇宙航空システム工学科「専修課程」実習レポート
- 07 SERIES
九州・沖縄8県人の発見
- 09 A LABORATORY REVIEW
薬学部 薬学科 生命薬学講座・微生物学研究室
工学部 宇宙航空システム工学科 西田研究室
- 11 NEWS
電波の日・情報通信月間式典で情報学部・帆足教授が表彰
友重教授が国際シンポジウムで研究発表
「SoDA展」を熊本県立美術館本館で開催
熊本医療センターと協力協定を締結
平成20年度「ベストティーチング賞」
- 12 TOPICS
学長杯ロボットコンテスト
つまようじ造構造物耐震コンテスト2009
大学院生が経産省・教育プログラムで高評価
薬学部生がドイツ・ハイデルベルグでの科学研修へ参加
危険物取扱者資格を5名の学生が取得
- 13 ALUMNI
株式会社 白元 關牧子さん
プロモデラー 中村辰昭さん
- 14 INTERNATIONAL EXCHANGES
国際交流だより
- CLUBS' ACTIVITY
漫画研究会
ソフトボール部
- 15 AUDIT 2008
平成20年度 決算・事業報告
- 17 THIS IS MY FAVORITE BOOK
心響の一冊
- 18 INFORMATION
平成21年度 同窓会総会
崇城大学専門学校からのお知らせ

SPECIAL ARTICLE

空へ

パイロットや航空整備士をめざして学ぶ
 工学部・宇宙航空システム工学科
 専修課程実習レポート





工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 パイロット養成コース実習レポート

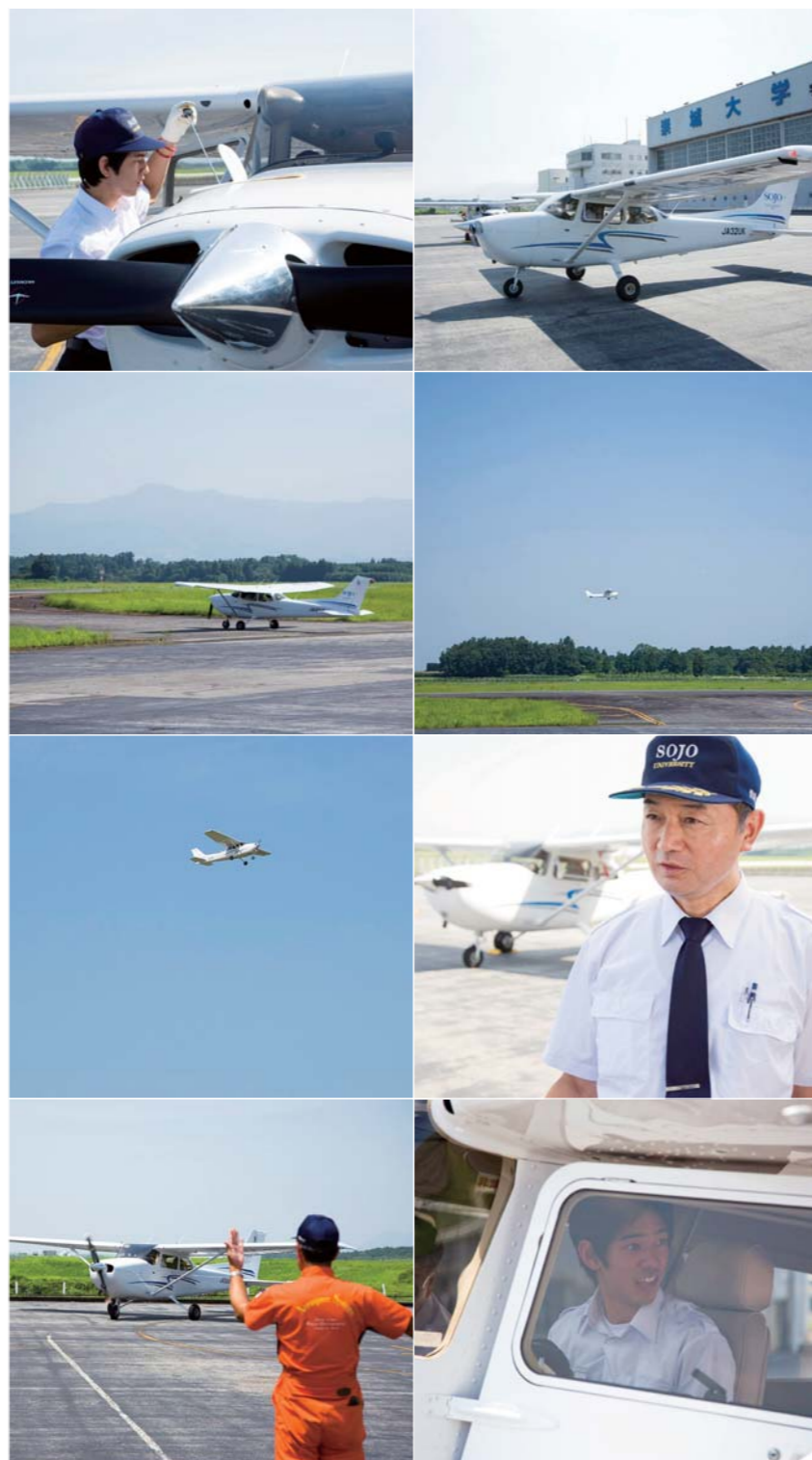
団塊世代の定年退職
によるパイロット不足を危惧

した政府からの打診に呼応。工学部・宇宙航空システム工学科に専修課程パイロット養成コースが開設されたのが2008年4月。昨夏の「フライト実習-1(体験飛行)」を経た第1期生が2年次生となって迎えた今夏、自身初の単独飛行を目標とする「フライト実習-2」が行われた。同様のコースをもつ他大学のフライト実習地は主に米国ながら、日本で唯一、自学の「空港キャンパス」を熊本空港隣接地にもつ本学パイロット養成コース生が飛ぶのは日本の空。本学ではプロ・ライセンス(事業用操縦士技能証明)取得に課せられる200時間を上回る4年間計230時間の飛行訓練が計画されており、今夏の「フライト実習-2」で行われたのは16フライトによる22時間50分。その目標は単独飛行ができるようになること。

取材に訪れた第6回フライトの訓練目標は失速や低空域空中操作、ノーフラップ着陸や模擬不時着操作であり、飛行前のブリーフィングから緊張は高まる一方。事前の機体チェックに対して、今回のフライトで操縦桿を握る田中剛士くんが真剣そのものなのは当然のこと。通常のフライトは学生と教官の2名ながら、今回は前日に6回目の飛行訓練を行った濱田圭くんが“自主トレ”として後部座席に同乗。教官、整備士、取材スタッフが見守って数分、空冷4気筒5900ccのエンジンが轟音と共にプロペラをまわした。

空港キャンパス北ウイングから熊本空港管制官の指示に従って滑走路を飛び立ち、彼らが向かったのは島原半島と天草の間にある有明海・試験訓練空域上空。緑に覆われた阿蘇の山並み、天草や島原の街並み、紺碧の有明海、眼下に広がる光景を楽しむ余裕があるのかどうか。本学の実習機「CESSNA SKYHAWK 172S」が飛び立っていった空へ、続々と飛んでいくエアラインの大型ジェット。真夏の陽射しが照りつける空港キャンパスでは、次のフライトに臨む実習機の最終チェックが黙々と行われ、暑さを口にする者は一人もない。

気づけば1時間30分が経過していた。田中剛士くんが操縦するセスナが青空の端に光った。彼を待つのは、フライト実習において最も難易度が高いとされる着陸。今回の実習の課題なのだろう。着陸した瞬間に離陸する“タッチ・アンド・ゴー”が何度も繰り返された。



そして彼らは、 飛び立った。

VOICE



夢に向かって一歩ずつ
着実に成長していきたい

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程
パイロット養成コース2年次生
田中 剛士くん
福岡県 西南学院高校出身

●卒業後にめざしているのはアメリカのエアラインにパイロットとして採用されること。日本でも管制官との無線は英語であり(実習でもそう!!)、入学前から英語はがんばってきました。それにしても、空気が薄い上空で過度な緊張が強いられるフライト実習は疲れます。今日、同乗してくれた濱田くんが言うには、僕は「余裕があるほう」らしいのですが、この夏に予定されている単独飛行のことを思うとプレッシャーを感じます。今後は楽しむ気持ちを忘れず、パイロットになるという夢に向かって一歩ずつ着実に成長していきたいと思っています。



厳しい訓練が続く毎日ですが
自分を律してがんばります

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程
パイロット養成コース2年次生
濱田 圭くん
高知県 土佐塾高校出身

●自身のフライトでは、事後に反省するためのセルフチェックができないほど緊張してしまいました。それで今回、田中くんのフライトに同乗させてもらい、有益な気づきを数多く得ることができました。また僕は英語が得意じゃないため、TOEICスコアで635点をもつ新田くんから日々教わっているんです。「エアラインのパイロットになる」ということではライバルかもしれないませんが、同じ夢をもつ者同士としての切磋琢磨があるのもこのコースの特色。プロ・ライセンスを取得するまで、今後も厳しい訓練が続きますが、自分を律してがんばります。



教官に食らいついていけば
夢はきっと叶うはず

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程
パイロット養成コース2年次生
新田 慎也くん
大阪府 清風高校出身

●入学から1年間、正直「座学が多くて……」と思っていました。でも実際に操縦桿を握って飛んでみると、メンタル面をふくむそれまでの準備がいかに大切であったかを痛感。座学であれ、実習であれ、すべてがパイロットになるための学びや訓練であり、それに専念できていることへの感謝も尽きません。また自学に空港キャンパスをもつ僕らほど恵まれた存在であり、素晴らしい教官たちに「食らいついていけば」夢はきっと叶うはず。日々のランニングによる体力強化をはじめ、ここ当分は焦ることなくじっくり、パイロットとしての土台を固めておきたいと思っています。

そしてようやく、滑走路に降り立った実習機が空港キャンパス北ウイングに戻ってきた。エンジンが制止した。コックピットのドアが開いた。自分でセスナを操り、空を飛んでいた田中剛士くんが地面に足をつけ、こちらに歩いてくる。しかし空気が薄い上空での訓練、体力はかなり消耗しているよう。インタビューは休憩後に行うことにする。それにしても、彼らはなぜ、どうして、ここまでして「パイロットになりたい」と思うのか。今回の実習を解説してくれた近藤眞教官(パイロット養成コース非常勤講師)は次のように述べる。

「パイロットになるのは簡単なことじゃない。機体操作の技能はもとより、航空力学や工学、気象に関する地学から英語まで、ハイレベルな知識とスキルが必要とされる。また、身につけたそれらを上空で発揮するための体力・気力、自らを律し続ける精神性、すべてにおいて“強靱”でなければパイロットは務まらない。しかし、だからこそ、パイロットが古今東西ずっとこれまで“憧れの職業”としての輝きを放ち続けてきたのだろう。幸い本学には日本で唯一の空港キャンパスがある。教官陣もエアラインのパイロット教育を担っていたようなプロばかり。これほど恵まれた環境は他にない。プロ・ライセンスの取得はもちろん、彼らの中からエアラインに採用される者があらわれることを私は確信している。3年後を大いに期待しておいてください。」



Photo Report

- ① ②
- ③ ④
- ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧

- ①フライトに先立ち機体の最終チェックを行う実習生。その表情はまさに真剣。
- ②実習には最新型のセスナ(SKYHAWK 172S)4機が用意されている。
- ③空港キャンパス北ウイングから熊本空港の滑走路に向かう実習機。管制官からの指示による離陸も間近。
- ④熊本空港・管制官からの“GOサイン”を受け、飛び立った瞬間の実習機。操縦桿を握る実習生の心境やいかに。
- ⑤島原半島と天草の間にある有明海・試験訓練区域から帰還、着陸した瞬間に離陸する“タッチ・アンド・ゴー”を何度も繰り返す実習機。
- ⑥実習機の帰還を待つ間、インタビューにこたえる近藤眞教官。エアラインのパイロット養成教育を手懸ける企業の取締役でもある。
- ⑦約1時間30分のフライトを終えて無事に着陸、パイロット養成コース専任の整備士・マニャーに誘導される。
- ⑧エンジンを制止し、安堵の表情を浮かべる実習生だが、空気の薄い上空での訓練による体力消耗も相当な様子。

やがて彼ら彼女らが、 飛び立たせる。

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 航空整備士養成コース実習レポート

エアラインから出向の専任教官等から高度な実践の技術を学び、国家資格である「二等航空整備士」の取得をめざす。これを主目標とする航空整備士養成コースが、工学部・宇宙航空システム工学科に専修課程として開設されたのが2007年度。第1期生もすでに3年次生となり、空港キャンパスでの全寮制・専門技術教育も最終段階。二等航空整備士の国家試験を翌年に控える彼ら・彼女らが1年次の基本実習を経て、本格的実習に初めて取り組んだのが昨年の夏前。それを眩しうに眺めていたのが、当時は入学からまだ間もなく、スバナもまともに握っていなかった第2期生たち。それから1年、あらためて訪ねた空港キャンパス南ウイングでは、2年次生となった第2期生による本格的な実習が行われていた。

その内容はエアラインでの整備実務に則したものであり、取材日に行われていたのは機体実習。これまで20コマ30時間以上におよぶ実機の分解・組み立て作業を通じて「航空機とはなにか」を確認し続け、工具の扱いにも習熟の兆しを見せ始めた彼ら・彼女ら。しかし自分たちの手で分解、再び組み立てた実習機の最終確認を行う「エンジンランナップ（試運転）」は初めての経験。

コックピットに乗り込んだ実習生が教官の合図を受けてエンジンを始動させる。緊張による静けさを打ち破り、空港キャンパス南ウイングに轟音が響く。

パイロット養成コースの実習と異なり、機体が飛び立つことはないが、実習生の全員が神経を尖らせていたのはエンジン音の微妙な変化。航空整備士にとって、その音からエンジンの状態を感じることも重要スキルのひとつのよう。コックピット内では実際に操縦桿を握り、出力の可変に伴う計器類との連動状況も確認されている。

エンジンが停止された。外部がチェックされた機体は格納庫へ、実習生たちが手で押して入れられた。注意深く、慎



重にカウリング(エンジンカバー)が外される。最高値まで出力したエンジンの具合はどうか。燃料やオイルの漏れはないか。ネジ類に弛みはないか。あってはならないトラブルの芽はどこにもないか。エアラインと同様のマニュアルを用いた驚くほどディテールなチェックが、教官の指示によって繰り返される。

「プラグが割れています。原因は僕の不注意かもしれません」。実習生の一人が悲痛な声をあげた。「陶製のプラグは少しの衝撃で微細なヒビが入ってしまう。その状態でエンジンを動かせば割れるのは当然。組み立て時、床に落としたプラグをそのまま装着したのだろう」。本学に赴任するまで、エアラインの航空機整備を担っていた藤井敏行教官(航空整備士養成コース実技教官)が割れたプラグを手にしながら諭す。先の実習生が「そのとおりです」と述べる。他の実習生はもちろん、取材スタッフたちも驚きが隠せない。しかし藤井教官は“笑顔”で次のように言う。

「彼が落としたプラグを装着するところ、実は見てたんだよね(笑)。でも、その時は注意しなかった。エンジンをまわし、実際に割れたプラグを見たら、彼も他の実習生も二度とそんなことはしないはず。だから学生である間、今後も大いに失敗させようと思ってる。その度に怒鳴られる彼ら・彼女らは少々かわいそうだけど、ミスが絶対に許されない仕事のプロになるには“失敗から学ぶ”経験が大切なんだよ」。厳しくかつ温かな教官陣に見守られて3年間、空港キャンパスの寮で寝食をともにしながら、実習を繰り返す航空整備士養成コース生たち。彼ら・彼女らが、パイロット養成コースの卒業生が操縦する航空機を整備し、同じキャンパスで学んだ仲間を飛び立たせる日。そのような日が来るのも、さほど遠い将来のことではないだろう。

Photo Report

- 自分たちで分解、組み立てた実習機に乗り込む実習生たち。
- エンジンを始動するための確認も慎重を期す作業。
- エンジンが作動する間、コックピット内では操縦桿を握る実習生が出力の可変を行い、それに伴う計器類との連動状況を確認する。
- エンジン停止後に行う機体の外部確認も実習における課題。
- エンジン停止後の外部確認を済ませた機体は、実習生たちが手で押して格納庫へと運ばれる。
- 注意深く、慎重にカウリング(エンジンカバー)を外していく実習生たち。
- 細部に至るチェックが繰り返され、あらゆる箇所での注意事項に関する教官からの指導が続く。



VOICE

重責を担うための技術の習得へ 今後も努力し続ける覚悟です

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程
航空整備士養成コース2年次生
久山 智史くん
岡山県 岡山操山高校出身

●自分たちの手で分解、組み立てた実習機のプロペラがまわった時は感動しました。でも同時に「その機体が人を乗せて空を飛ぶとしたら……」と考え、航空整備士という仕事に対して、身が震えるほどの重責を感じたのも事実。国家資格の取得はもとより、重責を担うにふさわしい技術の習得に向けて、今後も努力し続ける覚悟です。



VOICE

エアラインの整備士になるという 目標に向けて着々と進んでいます

工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程
航空整備士養成コース2年次生
西本 明子さん
熊本県 第一高校出身

●勉強すべき事項がとて多くて、仲間との自習が欠かせない毎日を過ごしてきました。目標とするのは整備士としてエアラインに就職すること。今日の実習も45項目のチェックが課題であり、目標達成に向けて着々と進んでいる感じ。整備士にはチームでの協調性が不可欠なため、寮での共同生活も大いに役立つだろうと思っています。

総合課程では
開発系の職に就くことを目標に
航空機に関する
ゼネラリストを養成しています



工学部 宇宙航空システム工学科
総合課程
廣中 俊生 講師

- パイロットや航空整備士というスペシャリストを養成するのが専修課程なら、「総合課程」は航空機に関するゼネラリストを養成していると言えるでしょう。
- そのカリキュラムは飛行機やヘリコプター等の航空機はもとより、ロケットや惑星探査船などの宇宙機の設計につながる分野まで網羅しており、総合課程の学生の多くが開発系エンジニアとして就職していきます。
- またCA(客室乗務員)や空港スタッフといった職をめざす際にも、総合課程で身につける航空機に関する幅広い知見は有効。総合課程にも4年間で4回のフライト実習があり、自分で操縦桿を握り飛んだ経験のある人、「飛行機がなぜ空を飛べるのか」について航空工学や力学の観点から理解している人、そういった学生をエアラインや空港会社が注目しないわけはありません。
- なお私は本学に着任するまで35年間、航空管制官の仕事をしてきており、同職に就ける可能性も総合課程の学びがあるとふまえています。
- 大いなる夢と志を抱き、宇宙航空システムを工学的見地から学び研究する総合課程もまた「空へ」つながる滑走路なのです。

九州・沖縄

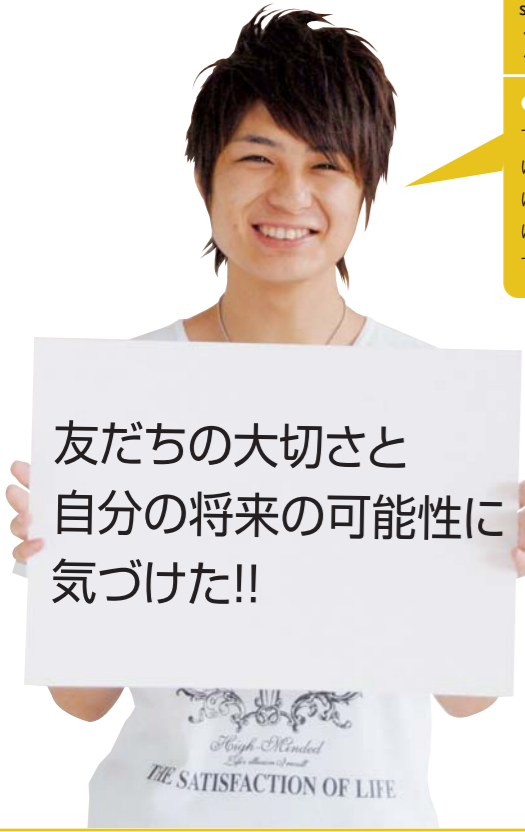
県人の発見

はっけんじんのはっけん

崇城大学生の約90%を占める九州・沖縄8県の出身者。
 そんな彼女ら彼らがこのキャンパスでの出会いや学びから、
 どんな夢や目標、新しい自分や故郷への想いを見つけたのか。
 8県8名の発見を紹介します。

series_02@01
熊本県人
 情報学部3年次生
 岸尾 宗知くん
 熊本県 宇土高校出身

●大学に入学した当初は周りに友だちがなくてとても淋しかったのですが、ある時ふと声をかけられ、それからたくさんの友だちができて同時に、友だちの大切さを知りました。また崇城大学には素晴らしい先生方がおられ、設備も充実していて、まだまだ成長できる自分にも気づきました。



友だちの大切さと
 自分の将来の可能性に
 気づけた!!

series_02@02
福岡県人
 芸術学部 美術学科2年次生
 樋口 友香さん
 福岡県 太宰府高校出身

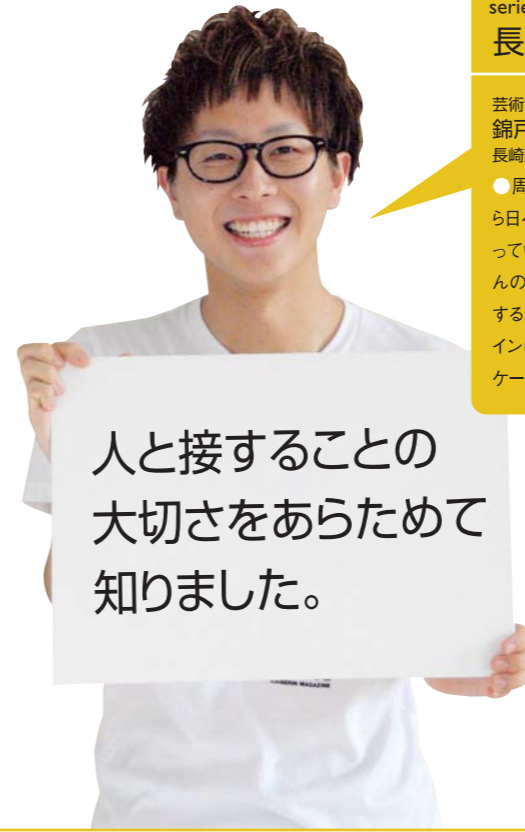
●大学に入学して、たくさんの方に気づかれました。私たちに広々とした制作の場があり、それが当然のことのように思っていたが、他の大学はそうでもないようで……近頃たくさん“恵まれている”ことに気づきました。また一人暮らしをして、たまに実家に帰ると家族のありがたみがわかったり。熊本にも福岡にも居場所があるからこそ頑張っていけます。



居場所がある、
 ありがたさ。

series_02@05
長崎県人
 芸術学部 デザイン学科3年次生
 錦戸 秀雄くん
 長崎県 長崎工業高校出身

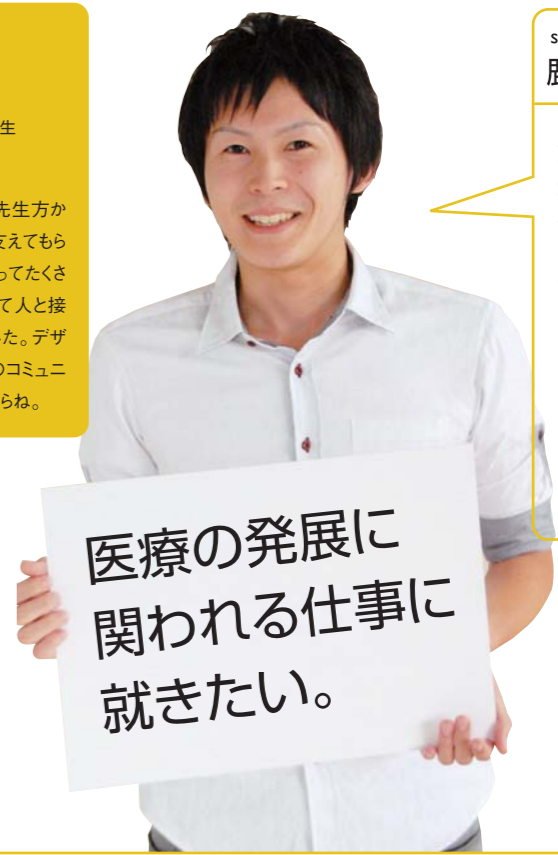
●周りにいる友人・先輩・先生方から日々刺激を受け、同時に支えてもらっています。この大学に入ってたくさんの人に会い、あらためて人と接することの大切さを知りました。デザインにおいても、人と人とのコミュニケーションは欠かせませんからね。



人と接することの
 大切さをあらためて
 知りました。

series_02@06
鹿児島県人
 工学部
 ナノサイエンス学科3年次生
 本田太郎くん
 鹿児島県 武岡台高校出身

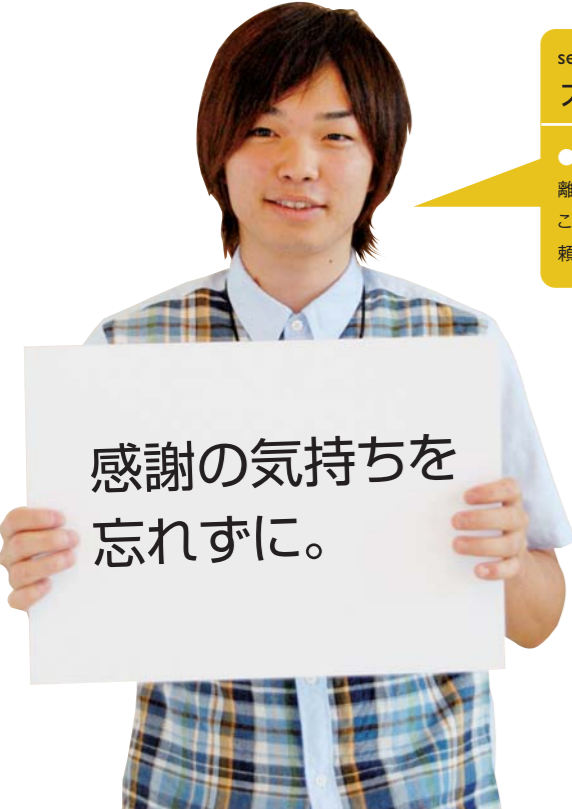
●小学生の頃まで喘息を抱え、薬とは切ってもきれない関係でした。そのこともあり、医薬品に興味がありました。それで2・3年次に受けた生化学や薬学に関する講義から、将来は医薬品を開発する研究者となり、人々の役に立ちたいと思うようになりました。



医療の発展に
 関われる仕事に
 就きたい。

series_02@03
大分県人
 工学部
 宇宙航空システム工学科4年次生
 佐藤 宏樹くん
 大分県 大分雄城台高校出身

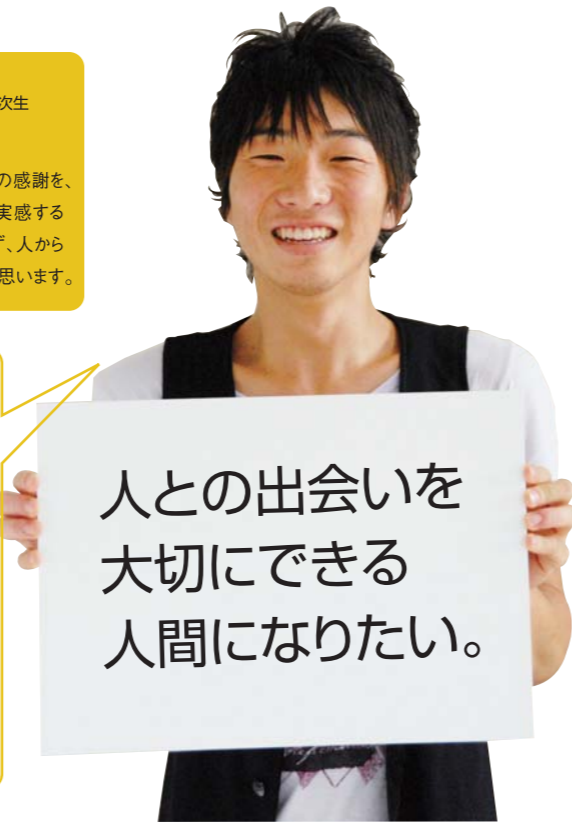
●僕はこの3年間で、学科や部活の仲間に日々の感謝を、離れて暮らす家族にこれまでの感謝を、たくさん実感することができました。これからもこの気持ちを忘れず、人から頼られ、感謝してもらえるような存在になりたいと思います。



感謝の気持ちを
 忘れずに。

series_02@04
宮崎県人
 生物生命学部 応用微生物工学科3年次生
 望月 一馬くん
 宮崎県 日章学園高校出身

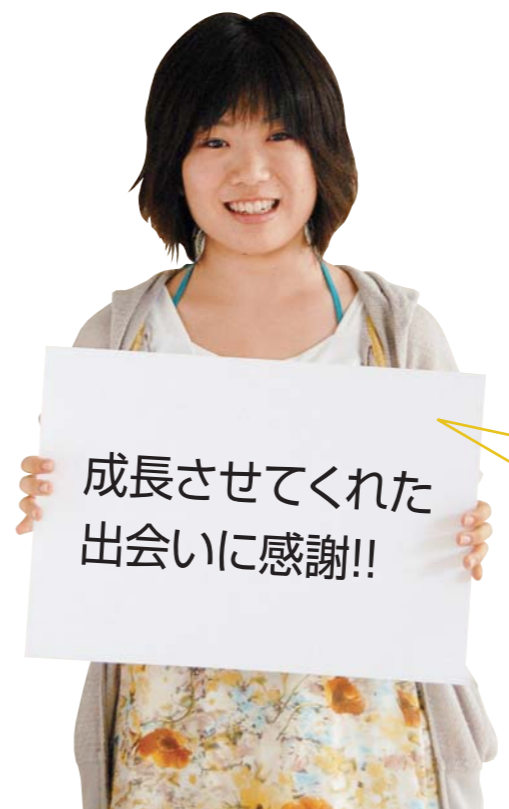
●大学でテコンドーを始め、部長を務めるようになってから、子どもたちから社会人の方々まで、たくさんのお会いがありました。ひとつ一つの出会いからたくさんのお話を学び、驚くほど成長できました。これからも出会いを大切に、日常生活を過ごしていきます。



人との出会いを
 大切にできる
 人間になりたい。

series_02@08
沖縄県人
 工学部
 エコデザイン学科3年次生
 赤嶺 吉治くん
 沖縄県 首里東高校出身

●大学生になるまで「就職できるならどの町でもよい」と思っていました。しかし沖縄を離れたことで、地元の良さがあらためてわかりました。それで卒業後は沖縄に戻ろうと思うようになったのですが、単に働くだけでなく、今は地元で貢献したいといった気持ちでいっぱいです。



成長させてくれた
 出会いに感謝!!

series_02@07
佐賀県人
 工学部 建築学科3年次生
 大家 宗美さん
 佐賀県 佐賀工業高校出身

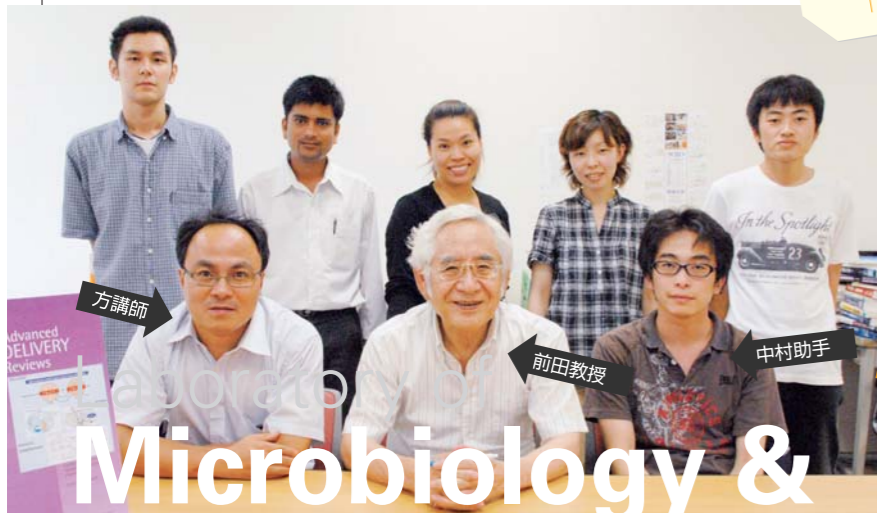
●幼い頃から設計の仕事に憧れ、崇城大学を迷わず選びました。大学の授業は深くて一生懸命ですが、夢は抱き続けてます。ここに来れたこと、仲間に出会えたことに感謝!!



地元で貢献
 できるような
 仕事がしたい。

癌治療に新しい突破口を拓く DDS研究で世界をリード

薬学部 薬学科
生命薬学講座
微生物学研究室
●指導教員/前田浩 教授 医学博士
方環 講師 医学博士
中村秀明 助手 薬学修士



Microbiology & Oncology

●当研究室では、癌に選択的にピンポイントする高分子型薬剤のドラッグデリバリーシステム(薬物送達システム/以下DDS)を中心に研究しています。DDSとは、要するに「癌のみに命中するミサイル療法」です。当研究室は国際的にも広く知られ「BiomedExperts」というサイトの情報を見ると、図1のように連携は世界中に広がっています。つまり当研究室は癌のDDS研究の世界の中心地なのです。

●高分子型薬剤とは、普通のアスピリンやペニシリン分子の100倍以上もある大きな分子の薬剤のことです。この高分子の薬剤が、癌部に選択的に集まるメカニズムはEPR効果として知られていますが、それは当研究室の前田教授が1986年に発見した概念です。今日では、分子量が数万から数百万のものが優れた制癌剤になることが世界中の多くの研究室で常識となっています。この研究領域は最近、ナノメディシンとも言われ、高分子結合薬剤、抗体医薬やミセル化剤など、さらには遺伝子治療もこれにふくまれます。ちなみにEPR効果の論文引用回数は、本年の7月までだけで4,600件を超えました。

●当研究室は上記3名のスタッフと大学院生4名、補助員をふくむ総勢7名の小グループですが、ウィーン大学やベルリン大学、メルボルン大学、ユタ大学など、海外との共同研究も活発であり、世界の癌治療に新しい突破口を拓くべく日夜頑張っています。

この数年の主な活動

- 現在、研究室全体としては前田研究室で開発した高分子化亜鉛プロトポルフィリン(PZP)のミセル型制癌剤の前臨床をめざした研究で、内外から多くの共同研究の申し込みを受けています。
- それに加え、各自のものとして、前田教授は最近、ニトログリセリンがEPR効果を高め、癌のDDSが2から3倍増強することを見出し、2009年7月にヨーロッパで開催された国際学会で発表。大反響がありました。
- 方講師は高分子型の新規抗炎症剤の研究で抗活性酸素に基づく降圧作用に加え、新しい抗炎症作用の研究を行っています。さらに上記のPZPと他の制癌剤との併用療法の研究を行っています。
- 中村助手は生体内の酵素の一つであるD-アミノ酸化酵素の抗がん作用・抗菌作用に関する分子レベルから動物レベルまでの研究を行っています。
- これらの研究に関し、昨年度は文科省の研究費が4件採択されています。これらは何れも国際的に認められたハイレベルな研究です。
- また当研究室の国際交流は図1のようにグローバルです。昨年まで当研究室に在籍していた独立行政法人日本学術振興会のフェローであったカレド・グレイシュ(エジプト)博士は、昨年7月にニューヨークで開催されたDDS関連の国際学会(CRS)において「Excellent Post Doctoral Achievement Award」を授与されました。同時に指導者の前田教授も表彰されました。



図1 当研究室と世界の研究室の連携ネットワーク

学生にきく

大学院 修士課程
応用化学専攻1年次生
月川 健士 さん
熊本県 真和高校出身

自身の研究テーマは?

●テーマは「Zn置換クロロフィルの高分子ミセルの構造とその生物活性」です。高分子が腫瘍組織に選択的に集積するEPR効果に興味があり、スチレンマレイン酸コポリマー(SMA)を用いた亜鉛入りクロロフィルの高分子誘導体薬剤を合成し、それが九州に多い成人T細胞白血病に対する有効な薬物になると考え、研究を行っています。

研究室の雰囲気は?

●少人数の研究室なので先生方と話す機会が多く、とても勉強しやすい環境です。また留学生も在籍しているため、コミュニケーションは先生方をふくめて英語が主となり、英語が自然と身につく環境です。

前田教授はどんな先生?

●とても研究熱心な先生です。知識が豊富で研究に関することはもちろん、それ以外のことも色々話をしていただけるので、勉強になります。

NISHIDA Laboratory



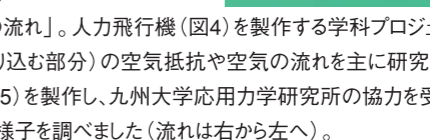
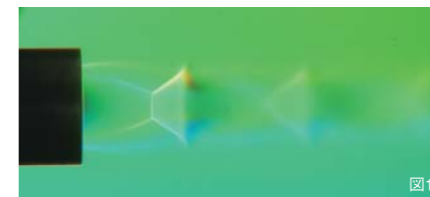
工学部 宇宙航空システム工学科
西田研究室
●指導教員/西田迪雄 教授 工学博士
●専門分野/高速空気力学
衝撃波気体力学 電気推進ロケット

ロケットノズルから噴射する超音速ジェットを カラーシュリーレン法により可視化し研究

●第1の研究テーマ(大学院生対象)は「超音速ジェット」。ロケットノズルから噴射する超音速ジェットをカラーシュリーレン法により可視化し、その構造(ジェットの広がり、その中に発生する衝撃波など)を研究しています(図1)。

●その一方でコンピュータによる解析を行い、実験では得られない微細な構造について調べています。この研究を進展させ、現在は高压ガスがリング状のノズル出口から大気へ膨張する超音速コアノズルジェット(図2)の構造を実験(ジェットの可視化/図3)と数値解析の両面で調べています。

●第2のテーマ(学部生対象)は「キャンピー周りの流れ」。人力飛行機(図4)を製作する学科プロジェクトとして参加しており、キャンピー(パイロットが乗り込む部分)の空気抵抗や空気の流れを主に研究・製作を進めています。またキャンピーの1/5模型(図5)を製作し、九州大学応用力学研究所の協力を受けて同所大型風洞で模型周りに煙を流し、流れの様子を調べました(流れは右から左へ)。



この数年の主な活動

- 電離層プラズマ流を利用した姿勢制御のためのトルク測定及びホールスラストにおけるスワールトルク計測
- 低エネルギーXe原子による炭素スパッタリングの分子動力学シミュレーション
- 平成19年度宇宙輸送シンポジウムへの参加(2008年1月28日・29日/宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部)
- ブラグノズルジェットの構造解析
- 日本航空宇宙学会西部支部講演会への参加(2008年11月14日/九州大学伊都キャンパス)
- Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2008に参加(2008年3月6日-8日、韓国・慶州)
- Xe蓄積による炭素スパッタリング閾値減少効果
- 低エネルギーXe原子による炭素スパッタリングのデータベース構築
- 平成20年度宇宙輸送シンポジウムへの参加(2009年1月19日・20日/宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部)

学生にきく



大学院 修士課程
宇宙航空システム工学専攻2年次生
中嶋 宏一 さん
福岡県 八幡中央高校出身

現在の研究テーマは?

●「環状超音速ジェットの数値計算および実験による研究」を進めています。衝撃波を伴う超音速ジェットの構造を、先進的カラーシュリーレン法による可視化とコンピュータによる数値計算により解析しています。通常、目で見ることのできない衝撃波の研究に魅力を感じています。

研究室の雰囲気は?

●院生4名、学部生9名、計13名の大所帯です。みんな個性豊かで、西田研究室に入る学生はなぜかいつも「どこか変わった」人ばかりです(良い意味で...です)。西田先生がそういった連中を呼び込む魔力をお持ちなのでしょう(笑)。

西田教授はどんな先生?

●とても権威のある先生です。あの若田光一宇宙飛行士をよくご存知です。研究などの指導をされる時はきびしい反面、カメラや鉄道、蝶、ドイツを愛する“少年の心”をもっておられます。そんな“学生より若々しい”先生をみんなが尊敬しています。

電波の日・情報通信月間式典で 情報学部・帆足教授が表彰

6月1日、総務省九州通信局主催「電波の日・情報通信月間」記念式典が行われ、情報学部の帆足孝文教授が九州総合通信局長表彰の電波の日表彰(個人の部)を受賞した。受賞課題は「離島等の中・長距離海上電波伝搬に適した無線アクセスシステム構築のための調査検討」。九州地域においてもブロードバンド未整備の離島が多数存在しており、ブロードバンド整備を加速させることが急務となっている。ブロードバンド・ゼロ地域解消のために、比較的安価で回線構築に柔軟性のある無線アクセスシステムについて調査検討を行い、設置が容易で導入しやすい特徴を考慮した技術的要件等を明らかにした。



写真前列左から二人目が帆足教授

友重教授が国際シンポジウムで研究発表

工学部・ナノサイエンス学科の友重竜一教授が7月6日から11日までアルメニア共和国(Tsakhkadzor)で行われた「第10回自己伝播高温合成に関する国際シンポジウム」で研究発表を行った。この研究は東北大学大学院金属フロンティア工学専攻との共同研究であり、科学研究費補助金のサポートで行われた研究成果の発表である。発表題目は「自己伝播高温合成により作製した硫化クロムのトライボロジー特性」。ベアリング機構のように高速高温摩擦が生じやすい極限環境においてもスムーズな駆動が続けられる固体潤滑剤の低コスト・大量合成方法に関する提案と、その実験結果に関する発表である。参加した友重教授は「日本からは3名のみの参加で最初は心細い思いもいましたが、アルメニア人スタッフのきめ細かな気遣いのおかげで期間中は何不自由なく過ごすことができました」とコメントした。



熊本医療センターと協力協定を締結

6月5日、医療・薬学研究などの推進・発展と人材育成に努めることを目的に、国立病院機構熊本医療センターと本学との協力協定調印式が行われた。本学にとって医療機関との提携は初めて。今年の3月、初の卒業生を輩出した本学薬学部だが、今後は同学生の実務実習や共同研究、施設の利用など、相互に協力していくこととなる。



平成20年度「ベストティーチング賞」

平成15年度から工学部、情報学部、生物生命学部で実施されてきた「ベストティーチング賞」に芸術学部が加わり、4学部での選定となった今回。同平成20年度授与式が6月30日、本館6階学術講演会場で行われた。受賞者は次のとおり。

<前期>

- 工学部 総合教育 福山洋准教授
- 生物生命学部 応用微生物工学科 田中稔篤講師
- 情報学部 情報学科 吉岡大三郎助教

<後期>

- 工学部 総合教育 ビーター B.フラハティ教授
- 工学部 ナノサイエンス学科 池永和敏准教授
- 工学部 総合教育 古閑登世美講師

「SoDA展」を熊本県立美術館本館で開催

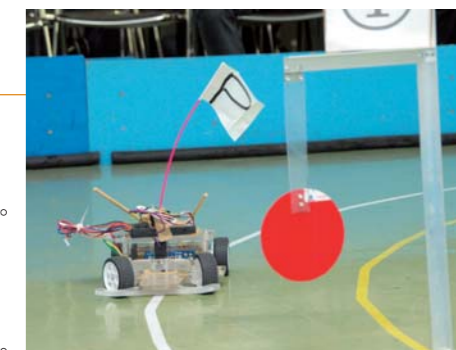
芸術学部開設10周年を記念したSoDA展が7月14日から20日まで、熊本県立美術館で開催された。芸術学部教員および非常勤講師の総勢31名の美術・デザインの作品、研究など73点が展示された。芸術学部の様々な個性が一堂に会し、会期中1100人の入場者が幅広い芸術学部の創作・研究活動を体験した。美術学科からは日本画・洋画・彫刻の具象を中心とした作品からインスタレーション、西洋・日本・インドの美術史や研究活動、デザイン学科からはイラストレーション、映像、プロダクトデザイン、タイポグラフィ、パフォーマンス



スまで、芸術学部教員の多彩な個の集結が様々に発信された。18日から20日には教員自身による講演も同会場で行われ、創作活動の裏側や教員の研究活動の一端を披露した。また14日から19日までは卒業生による「SoDA_Kids展」も崇城大学ギャラリーで開催された。

工学部・機械工学科 学長杯ロボットコンテスト

第9回学長杯ロボットコンテスト「ランサーロボット競技会」が7月31日、機械棟601教室にて開催された。この競技会は機械工学科1年次生を対象に「ものづくり教育」として実施されてきた。競技内容はラジコン制御の「ランサーロボット(槍騎兵)」で所定のコース(楕円形)を周回しながら複数の標的を制御可能な槍で突くこと。車両の走行性能および的確に標的を突く制御性能の二つの性能を競うものである。競技会では二輪車や五輪車、槍が鳥の羽のように作動する車両等、実にユニークな車両から走行性能向上に工夫を凝らした計24台のランサーロボットが激走を繰り広げた。まだ機械工学の専門知識が浅いながらも試行錯誤の末に完成させたロボットを、顔に汗を浮かべながら懸命に操る学生の姿に、会場も大いに盛り上がり有意義な競技会となった。



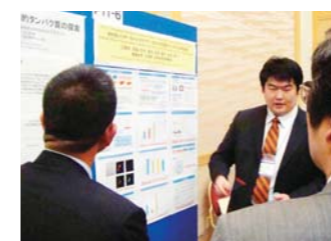
つまようじ造構造物耐震コンテスト2009

6月18日、構造物実験室において「つまようじ造構造物耐震コンテスト2009」が開催された。これは2人1組でコンテスト規定(高さ約50cm・重量85g以内)に則って「つまようじ」と木工用接着剤のみで構造物を製作、その2箇所に重りを乗せて振動を加え、その耐震性(壊れないか)を競うもの。



3回目となる今回は工学部・建築学科の1年次生から大学院生まで、これまで最も多い20組が参加した。見るからに丈夫そうな物、造形的には美しいが強度は不安なものなど、アイデアに富んだ作品が寄せられた。構造物が揺れるたびに会場からは歓声が上がリ、倒壊しそうになると悲鳴に似た声に変わった。重りの数を増やしていくと、構造物は堪えられずに少しずつ減って行き、優勝は重り7枚(7kg)に耐えた建築学科4年次生、縁谷賢太郎くん(長崎県・佐世保南高校出身)と坂口雅哉くん(熊本県・熊本学園大学付属高校出身)組だった。

大学院生が経産省・教育プログラムで高評価



経済産業省「第1回インターカレッジ・バイオリダーズ集中教育プログラム」が2008年1月26日から28日、東京の晴海で開催された。東京大学をはじめ大阪大学や九州大学など、全国から選抜されたバイオ分野の大学院生と企業技術系の若手研究者が参加した。

本学からは県内で唯一人、上岡研究室の大学院博士後期課程・応用生命科学専攻1年次生の扇谷昌宏さん(兵庫県・須磨東高校出身)が選抜された。同プログラムは財団法人バイオインダストリー協会が主催。経済産業省が実施している産学連携人材育成事業の一環であり、国際競争の中で勝ち抜くための問題解決、特許や会社設立における基本知識の講義、チーム別での起業模擬演習などが実施された。扇谷さんはリーダーシップと起業化精神が高く評価され、バイオ分野における次世代リーダーとしての活躍が期待されている。

薬学部生がドイツ・ハイデルベルグでの科学研修へ参加

7月19日から8月15日までドイツ・ハイデルベルグ市で開催された「Summer Science School in Heidelberg」へ3名の薬学部学生が参加した。彼らは他国の姉妹都市の学生と研究を行うことにより、科学、語学、文化、自立心、問題解決能力などを学習した。薬学関連における研究分析能力および語学力の重要性は増すばかりであり、ハイデルベルグでの彼らの経験は貴重なものとなるだろう。また彼らの成長が楽しみであると同時に、他の崇城大生たちに与える好影響も期待される。

<参加者>

- 薬学部 薬学科3年次生
- 前田彩さん(熊本県・熊本高校出身)
- 松崎香織さん(熊本県・真和高校出身)
- 薬学部 薬学科2年次生
- 浦田純くん(長崎県・長崎南高校出身)



危険物取扱者資格を12名の学生が取得

「危険物取扱者」とは火災予防の見地から、一定数量以上の危険物を貯蔵し取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設に必ず置かれ、危険物の取り扱いと点検、保安の監督ができる国家資格。平成21年度試験に次の工学部・ナノサイエンス学科生7名と生物生命学部・応用生命科学科生5名が合格。資格を取得した。

<甲種危険物取扱者>

- 工学部 ナノサイエンス学科3年次生
- 河島卓也くん(熊本県・小川工業高校出身)
- 生物生命学部 応用生命科学科3年次生
- 河野幸恵さん(宮崎県・宮崎南高校出身)
- 石川圭祐くん(熊本県・鹿本高校出身)
- 古賀龍樹くん(福岡県・博多青松高校出身)
- 生物生命学部 応用生命科学科2年次生
- 坂本龍くん(佐賀県・唐津東高校出身)

<乙種第4類危険物取扱者>

- 工学部 ナノサイエンス学科3年次生
- 藤原拓也くん(熊本県・第二高校出身)
- 工学部 ナノサイエンス学科2年次生
- 古閑裕子さん(熊本県・第一高校出身)
- 中山達也くん(熊本県・東稜高校出身)
- 宮崎仁美さん(佐賀県・鳥栖高校出身)
- 工学部 ナノサイエンス学科1年次生
- 松本佳和くん(熊本県・熊本西高校出身)
- 米政義くん(熊本県・文徳高校出身)
- 生物生命学部 応用生命科学科1年次生
- 吉岡貴史くん(福岡県・久留米高校出身)

Photo Scrap*

6.6 後援会総会

6.12 海の家開き



6.13 学長杯ソフトボール大会



6.23 進学説明会



7.23~7.31 前期試験



7.31 教養講座修了式



8.1,23 オープンキャンパス



卒業生直撃 interview

防虫剤やマスクなどの大手メーカー白元でさまざまな製品の品質保証を担当

株式会社 白元 品質保証部 品質保証室

● 関 牧子 (旧姓・梶原) さん

2003年3月 工学部 応用化学科 (現ナノサイエンス学科) 卒業 / 2005年3月 大学院 修士課程 応用化学専攻修了
アメリカ・ニューヨーク出身 (大学入学資格検定合格)

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

● 勤務先は日用品メーカーである株式会社白元の品質保証部 品質保証室に勤務しています。主に新製品や既存品の検査基準の設定・見直し、品質関連データの分析、苦情処理、不良対策の推進などを担当しています。また行政機関からの調査依頼への対応やプライベートブランド受託先からの工場監査対応など、社外対応の一部も行っていきます。

学生時代の思い出を教えてください

● 尊敬する先生、信頼できる友人たち、そして主人に出会えたこと(笑)。先生には卒業後も近況報告のメールをしています。毎回とても温かい返信をいただきます。また首都圏にいる同窓生たちは年に数回飲み会をしており、口コミで広めた非公式の「応化OB・OG会」は30名余りにまで成長しました。出会った頃は院生だった主人とは約10年の恋を交わらせ、今年の春に結婚しました。

大学時代に学んだことが今のように活かされていますか

● 在学時はPDCAサイクルという言葉は特に意識していませんでしたが、今になって思えば実験はまさに仕事で要求されるPDCAサイクルの繰り返し(PDCA / 計画・実行・評価・改善の英頭文字)。これは一例に過ぎませんが、吉田・西田研究室で身につけたすべてが、今の私の土台になっています。

崇城大に学ぶ後輩たちへアドバイスやメッセージをお願いします

● 悩みや不安、迷いのない人生はないと思います。特に10代後半から20代前半の時期はそうではないでしょうか。勉強や進路にしても、恋や友人関係にしても、逃げずに何でもトライして、毎日を丁寧に生きてください。たとえ希望に沿わない結果が出たとしても、その姿勢は次にある課題を乗り越える糧に必ずなります。

将来の夢を教えてください

● 日本には6歳の時に引っ越ししてきましたが、その頃から家の中には防虫剤や除湿剤など何かしら白元製品がありました。聞けば、祖母の代から愛用しているとのこと。将来、子供の代でも世代を超えて愛用され続けるよう、信頼を守っていくことが夢であり目標です。



卒業生直撃 interview

彫刻コースで身につけた“カタチを見る目”を活かしてプロモデラーとしてフリーランスに

フリーランス・プロモデラー

● 中村 辰昭さん

2005年3月 芸術学部 美術学科 彫刻コース卒業 / 長崎県・創成館高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

● 美術学科・彫刻コースを卒業後は模型の制作会社に勤務しました。それから大学や会社で身につけた技術をベースにフリーランスになり、自宅のガレージを改修したアトリエで模型の製作代行などをしています。Tシャツのデザインなどもしています。依頼のほとんどはインターネットを通じてです。

学生時代の思い出を教えてください

● 大学時代の思い出はいろいろありますが、硯川の別館で行った鋳造の授業が特に印象に残っています。同級生と夜通し交代での釜の見張り。キャンプみたいで楽しかったです。ここで学んだ注型という概念が今の仕事に役立っています。

大学時代に学んだ事が

今どのように活かされていますか

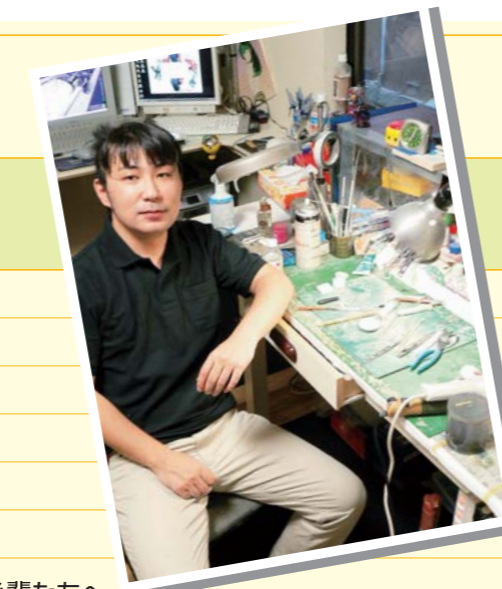
● 活かされていることはたくさんあります。先に述べた注型の技術、適材適所の素材の知識、4年間を通して学んだ人体の筋肉の付き方や骨格の構造……「説得力のあるカタチを見る目」といった感じのことです。でも最大の価値は先生方や先輩・同級生たちから影響を受けた「ものづくりに対する情熱」だと思います。

崇城大に学ぶ後輩たちへアドバイスやメッセージをお願いします

● 大学の4年間は長そうで短いです。なので自分の興味あるジャンルで一杯よいものを見たり、実際に体験したりし、それを自分の力にして欲しいです。

将来の夢を教えてください

● まだアンダーグラウンドな感じなんで(笑)、少しずつでよいから有名になりたいですね。そのために日々の努力・研鑽は続けるつもりです。



INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

本学協定校のフランス・バイオ産業大学からの留学生へ本学や熊本の印象をきいてみました

フランスでの在籍は?

● 「EBI」と呼ばれるバイオ産業大学 (Industrial Biologie School) です。ちなみに「EBI」は「海老」ではありません(笑)。

本学での所属と留学期間は?

● 生物生命学部・応用微生物工学科の食品生物科学講座・寺本研究室です。留学期間は2009年3月から9月末までの予定です。



生物生命学部 応用微生物工学科
食品生物科学講座 寺本研究室へ
フランス・バイオ産業大学から留学中
(EBI / Industrial Biologie School)

● ジュリアン・ブロくん

Julien Brault

● 崇城大学はさまざまなジャンルの専門的な先生がたくさんおられ、実験装置も充実していて、とても素晴らしい大学だと思います。

● 僕自身、熊本や崇城大学がとても気に入っていて、快適かつ心地よく生活しています。また、いろんな人と出会い、これまで知らなかった「日本を発見」できたとき、幸せを感じました。

今後の目標は?

● むずかしい質問ですね。僕の目標は幸せに暮らすこと。将来は生物学的な応用を活かせる企業、例えば食品や水関連の産業、環境関連の企業で働きたいと思っています。でも僕はまだ若いので、本当にながしたいのか、決めかねている状態です。とはいえ「生物」に関わって生きていくことについては「まちがいない」と思っています。

● ちなみに僕が日本に来たのは……「箸の使い方を学ぶため」でした(冗談です)。



なにを研究しているのですか?

● ハチミツ酒の試醸とその抗酸化能の検定です。

本学や熊本の印象は?

● 熊本の第一印象は「うわあ!! なんて大きな町(市)だ!!」です。フランス人にとって熊本のような町は大都市です。熊本に来るまではもう少し小さな町だと思っていました。

CLUBS' ACTIVITY

イラストや絵を描いたことがなくても気づけば上手になれる「漫研」です

● 皆さんこんにちは。崇城大学の漫画研究会こと「漫研」です。僕たち漫研は1年次生から3年次生まで総数21人。日々楽しく活動しています。

● 漫研の1年間の活動内容は看板やパネルを制作したり、イラストや漫画を描いたり、小説を書いたり、模型などの展示物を制作したりし、独自の展示会や井芹祭(学園祭)で発表することです。また春には他大学の人たちと一緒に展示会をしたりもします。

● なお「私はイラストとか絵なんて描いたことがないからムリ」って思う人がいるかもしれませんが大丈夫です。初心者むけに簡単な勉強会や「原稿講習会」を行ったりしているので、知らず知らずのうちに絵がうまくなっているはずですよ。

● この他にも夏休みには「合宿」を行い、みんなで和気あいあいと親睦を深めています。井芹祭などの際は、ぜひ見に来てください。部員一同、心からお待ちしています。



漫画研究会

代表 / 情報学部2年次生
姫路 開光くん
熊本県 東稜高校出身



ソフトボール部

代表 / 工学部 宇宙航空システム工学科3年次生
藏元 慎也くん
熊本県 天草高校出身

全国大会に初出場!! 1勝をあげベスト16に!!

● 私たちソフトボール部は現在34名。体力と技術の向上をめざして活動しています。今年は5月30日から2日間にわたり鹿児島県・知覧町で開催された九州地区インカレにおいて強豪校を撃破。ベスト4進出を果たして念願の全国大会の切符を手に入れることができました。

● 8月27日から4日間にわたり宮崎県・宮崎市で開催された文部科学大臣杯全国大学選手権大会では唯一の初出場ながら1勝を勝ち取りました(ベスト16)。大会では、やれるという自信と全国のレベルを肌で感じる事ができ、この経験を活かし部員一人ひとりがより一層の努力を重ね、保護者やOBの方々の期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っています。

平成20年度決算報告

監査報告書

学校法人 君が国学園
理事長 中山 雄 毅

私たち学校法人君が国学園の監事は、私立学校法第37条第3号の規定に基づき平成20年度の学校法人君が国学園の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、理事会、評議員会その他重要な会議に出席するほか理事から事業の報告を聴取し、また重要資料を閲覧して業務の執行状況を監査し、また会計監査人と連携を取り財産の状況を監査いたしました。

監査の結果、学校法人の業務の執行に関しては法令及び附随行為に違反する重大な事実はなく、平成20年度の学校法人君が国学園の財産の状況は適正なものと認められます。

平成21年5月26日

学校法人 君が国学園

監事 岡田 寛
監事 松尾 征晴

資金収支計算書(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	5,125,638	人件費支出	3,363,501
手数料収入	62,762	教育研究経費支出	1,117,652
寄付金収入	23,052	管理経費支出	526,453
補助金収入	747,198	借入金等利息支出	23,269
資産運用収入	214,341	借入金等返済支出	434,260
資産売却収入	326,163	施設関係支出	341,867
事業収入	171,132	設備関係支出	317,566
雑収入	102,684	資産運用支出	879,445
借入金等収入	0	その他の支出	100,033
前受金収入	841,792	資金支出調整勘定	△ 162,850
その他の収入	228,386	次年度繰越支払金	4,765,168
資金収入調整勘定	△ 1,152,784	支出の部合計	11,706,364
前年度繰越支払資金	5,016,000		
収入の部合計	11,706,364		

消費収支計算書(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	5,125,638	人件費	3,479,606
手数料	62,762	教育研究経費	1,994,691
寄付金	76,336	管理経費	694,441
補助金	747,198	借入金等利息	23,269
資産運用収入	214,341	資産処分差額	163,193
資産売却差額	16,005	徴収不能額	3,325
事業収入	171,132	消費支出の部合計	6,358,525
雑収入	102,684		
帰属収入合計	6,516,096		
基本金組入額	△ 298,803		
消費収入の部合計	6,217,293		

貸借対照表(平成21年3月31日) (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	決算額	科目	決算額
固定資産	32,805,043	負債	3,820,070
有形固定資産	28,078,373	固定負債	2,429,479
その他の固定資産	4,726,670	流動負債	1,390,591
流動資産	5,055,686	基本金	43,847,545
現金預金	4,765,168	第1号基本金	43,412,545
その他	290,518	第4号基本金	435,000
合計	37,860,729	消費収支差額	△ 9,806,886
		消費支出超過額	△ 9,806,886
		合計	37,860,729

財産目録

I 資産総額	37,860,729,492円
内 基本財産	25,714,844,447円
運用財産	12,145,885,045円
収益事業用財産	0円
II 負債総額	3,820,070,087円
III 正味財産	34,040,659,405円

平成21年度の在籍学生数(5月1日現在)

工学部	1,291名	大学院工学研究科	130名
芸術学部	230名	大学院芸術研究科	30名
情報学部	614名	計	160名
生物生命学部	648名		
薬学部	560名		
計	3,343名		

平成20年度 事業報告

許認可申請関係

- 工学部宇宙航空システム工学科にパイロット養成コースを開設
- パイロット養成コースの操縦訓練にかかる業務を委託するため本田航空株式会社と業務提携締結

事業・認定関係

- 文部科学省私立大学戦略的研究拠点形成支援事業
「超領域的フィードバックによる進化型ナノサイエンス研究拠点の構築(ナノサイエンス学科・新海征治)」採択
- 財団法人日本高等教育評価機構 認証評価受審・認定

地域交流関係

- 水俣市と連携協力に関する協定を締結(平成20年10月15日)
- 天草市と連携協力に関する協定を締結(平成20年10月31日)
- 山鹿市 山鹿灯籠浪漫・百華百彩に協力参加
- 熊本市・本妙寺「桜灯籠」に協力参加
- 大分県臼杵市「うすき竹育」に協力参加

国際交流関係

- 広西師範大学(中国)より交換留学生2名を1年間受入・交換研修旅行として2週間12名を派遣及び受入

教育関係

- 学生支援センターを開設
- 薬学部第1期生が卒業(国家試験合格率は95%で全国第2位)
- 芸術研究科 博士課程第1期生が修了
- 全日本学生フォーミュラ大会に初出場

その他

- 中村晋也副学長「文化勲章受章を祝う会」を開催
- 未来づくりコンテストを実施
- 教養講座30周年記念「中村メイコ特別講演会」を開催

これは私が学生の頃、外国文学に興味をもち、書店でいろいろ本を物色している時にふと目に留まった一冊です。著者は「トム・ソーヤの冒険」や「ハックルベリー・フィン」など明るく伸び伸びとした作品で有名ですが、これはそれらと同じ人間が書いたものかと思われるほど悲観的で否定的です。ただし人生に幻滅した老人と青年との対話の形で物語は進んでおり、題名から想像されるような哲学的なものではありません。「人間もまた非人格的な機関」に過ぎず、すべて「外的衝力によって動かされ」ており、「愛・憎しみ・慈悲・復讐・親切・赦し等」は「己れ自身の自己承認を得なければならぬ」という主衝動の異なった結果というだけに過ぎないという主人公の老人の“pessimistic”な人間観には全く同感できるものではありませんが、読み進めるうちに何故かこの老人の説得に自然と惹かれて



マーク・トウェイン 著
中野好夫 訳
人間とは何か
写真の一冊は
岩波文庫刊

いきました。このような人間観しかもたない人が実在するとは思えませんが、人間誰しも悲観的な部分をもっており、殺伐とした今の社会の中では、人それぞれの中で、このような人間観の割合が増えているような気がします。この作品の主題とは関係ありませんが、青年は最後まで老人の考えに同調することはなく、自分の考えをぶつけています。理解し難い考

主人公の人間観に同感できないのに
読み進めるうちに何故か主人公の説得に
自然と惹かれていきました

●工学部 建築学科/東康二 准教授

え方であっても一つの考え方としながら自分の意見をはっきり述べる。このことは現代社会でも重要なことではないでしょうか。

心響の 一冊

This is my favorite book

Series@06

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

私の専門とは全く関係ないのですが、最近歴史ものが流行っているようなので歴史小説を一冊紹介します。この「新三河物語」の著者である宮城谷昌光は、以前は「晏子」や「奇貨居くべし」などの中国の歴史小説を書いていたのですが最近、日本の歴史小説も手がけるようになったようです。この著者の作品の特徴として主人公の知名度がやや

こういった歴史小説は
教養を身につけるのに役に立つので
勉強の合間に読んでみてください

●生物生命学部 応用生命科学科/宮原浩二 准教授

低いことと、主人公の上司に対する批判が挙げられます。その特徴は「新三河物語」にも活かされており、主人公は徳川家康の家臣、大久保忠教とその兄弟(マニア度高し)です。



宮城谷昌光 著
新三河物語
写真の一冊は
新潮社刊

また、主人公の忠教は武家のトップである徳川家康に対して直接抗議しています。どのように抗議しているかは本書を読んで確認してください。本書では、大久保忠教の「三河物語」をもとに大久保家の視点から、桶狭間の戦いから徳川幕府の成立に至るまでの岡崎松平家の興隆を描いています。特に三河一向一揆や三方ヶ原の戦いなどの戦闘場面は秀逸で、当時の戦闘様式が詳細に書かれています。また、他の歴史小説では暗君だと言われている武田勝頼や松平信康も比較的好意的に書かれているのも特徴です。このような歴史小説を読むことは、大学の「勉強」にはあまり関係ないと思いますが、教養を身につけるためには役に立つと思いますので「勉強」の合間に読んでみてください。

INFORMATION

平成21年度 同窓会 総会開催

7月4日、熊本全日空ホテルニュースカイにおいて同窓会総会を開催しました。総会では、たくさんのOBの方々に参加され、事業計画等について活発な意見交換ができました。また、会長より、母校崇城大学の近況を更にタイムリーにお知らせできるよう、本年度は同窓会のHPの充実を力を入れ、大学との連携を密にしていきたい旨の挨拶がありました。引き続き、母校崇城大学情報学部、萩原教授の講演にうつりました。終了後の懇談会には、崇城大学から中山学長をはじめ、恩師の先生方が多数ご出席され、総数500名を超える大同窓会を催すことができました。懐かしい顔も多く見られ、お互いの近況を語り合い、旧交を深めていただきました。また数10年ぶりに垣間見た母校の素晴らしい発展に皆さんとても満足された様子でした。これからも同窓会役員一同、より多くの情報を発信し、母校と卒業生を繋いでいけるように頑張ります。



崇城大学「専門学校」からのお知らせ

SOJO COLLEGE INFORMATION

願書受付が9月28日からスタート!!

<2010年度 入試日程>

試験区分	試験科目	願書受付締切日	試験日	合格発表日	手続期限
指定校推薦試験	小論文・面接	10月8日	10月10日	10月20日	11月4日
		11月5日	11月7日	11月17日	12月2日
特待生試験	学科・面接	10月8日	10月10日	10月20日	11月4日
		12月10日	12月12日	12月22日	1月13日
		2月18日	2月20日	3月2日	3月17日
一般推薦試験* 一般入学試験	面接	3月10日	3月12日	3月23日	4月2日
		10月8日	10月10日	10月20日	11月4日
		11月5日	11月7日	11月17日	12月2日
		12月10日	12月12日	12月22日	1月13日
		1月28日	1月30日	2月9日	2月24日
		2月18日	2月20日	3月2日	3月17日
		3月10日	3月12日	3月23日	4月2日
3月23日	3月24日	3月26日	4月2日		

*一般推薦試験については、オープンキャンパス参加者の「面接」を免除します

※願書受付は9時から16時まで(土曜・日曜・祝日を除く)

3月までオープンキャンパス実施中。詳細はホームページで!!

崇城大学 専門学校 〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122
<http://www.sojo-c.ac.jp/> info@sojo-c.ac.jp